

市長とランチミーティング⑬

地産地消・防犯・新空港 島のコンビニ店として考える

第13回「市長とランチミーティング」は7月20日(水)に「石垣島COCO協同組合」の皆さんと行われました。そのミーティング内容を紹介します。

専務理事・東さん ランチミーティングに参加させて頂いたいただき、ありがとうございます。日頃、市長や副市長となかなかお会いする機会が少ないので、今日は市長のご意見なり、行政の方からどういう考えをお持ちなのか、いろいろなお話を聞きながら市政に関心を持つてもらえたらと思っています。今日は現場で働く職員も何名か出席しています。

「コンビニでも地産地消を！」

東さん 我々COCO協同組合は4業者14店舗で営業し、約270名余りの職員を雇用しております。地元の小さなせんべい屋さんや個人で経営している方の品物も店舗に置かせてもらい販売しています。

塩谷さん 今さら地産地消というわけではないですが、過去にも個別のお店を地元のもので、ということを実施していました



が、本部との値入交渉になるため、利益が取れないとこの事業は、なかなかできないというところもありまして、統計的な取り組みができませんでした。この組合はスケールメリットがあることによつて納品業者、生産者

の方も値入のことを考えられるだろうと、窓口がある程度しぼめました。私達としても本部と生産者の間に立つて、両者をうまく取り持つて、コーナーを作れるんじゃないかと、各店舗に地産地消コーナーのスペースを設けて取り組んでいる最中なんです。観光客も来ますので、それなりのアピールができるのではないかと期待しています。また、「まちの駅」にココストアとして出店し、ネットワークをうまく作つて、来客サービス、地域の産物を横のつながりで、他のまちの駅で販売しようという組んでいきます。もちろん、行政や商工会、観光協会とも協力してやる新しいかたちです。また、商工会からアトム通貨も出しますので、各店舗でも使えるような方針を考えています。

東さん 先だって新垣部長とお会いして話をしましたが、マンガーやパイン、パイヤで農家でさばけない物、規格はずれの物の話がありました。

新垣農林水産部長 マンゴーを沖縄県で一番最初に栽培したのは石垣市。にもかかわらず、宮古島や他のところに拠点産地認

定ができて、びっくりしています。マンガーは研究会レベル。これを協議会へ立ち上げて拠点産地認定まで持つていけたら、県から施設、ソフトの導入が優先的に受けられます。その中で訳あり物、見た目は良くないが、味は一緒という物をさばけるところ、あるいは対価問題や豊作の場合に対策としてココストアに協力できないかということと話ししました。私はマンガー研究会と皆さんの間に入つて話し合いをやるのかなと考えています。まず、マンガーから始めて、その後、果物類、ココストア版のファーマーズマーケット的なものを作つていただければなと思います。

東さん まちの駅の加盟店は全部つながっているの、例えば、新潟の加盟店に連絡して、今一番豊作の農産物の規格はどれの物とマンガーを交換するとかの直接的取引ができます。石垣に居ながら全国各地のものが食できる、そのようなつながりができるようです。

新垣農林水産部長 皆さんは一括して購入するのですか。

東さん はい、そうです。COCOの加盟店がまちの駅の認証をもらいますので、一括して購入し、組合を通じて販売することも可能かなと思います。

漢那副市長 まちの駅、大変いいアイデアだと思います。新石垣空港開港に向けてのアクセス道路で「道の駅」の話ですけど、

市長とランチミーティング

何年か前から出ています。宮古、八重山にはまだありません。「道の駅」を「まちの駅」として石垣らしいまちの駅を皆さんが作り、少し工夫すれば、可能性は十分高いものになるものと思います。

組合員 喜んでやりましょう！

東さん まちの駅は国土交通省から予算がありますか。

漢那副市長 いいえ。全て自費で作っています。

街灯を増設して 明るい地域づくり

上原さん コンビニは子どもからお年寄りまで利用し、子どもの万引きから最近の強盗のような大きな事件まで起こっています。石垣も本土と変わらないような事件も起こり、コストアとしても防犯に特に力を入れておられます。同じようなことがまた起こる可能性がありますので、行政も含めて何かいい知恵があれば、お力をいただきたいと思っています。夜10時以降、学生もちよこちよこ来るんでスタッフのほうで早く帰宅するよう促しています。夜中には万引きや酒たばこを賣おうとすることが、まだまだあります。叱る大人が少なくなつたような時代です。ぜひ、地域と行政との連携を組めるような何かいいアイデアをお願いしたいです。

真喜良地区の店舗ですが、道

が暗く、ホテルがあるので日中、バスも通りますし、通学路でもありません。もうちよつと道を整備してほしいです。夜の部活帰り、塾帰り、バイト帰りの子ども達がいいますが街灯が少なくて暗い。街灯を増やすことによつて、明るい地域づくりになると思います。また、真喜良地区は交番があるとまちの安全にもなるのではないかと思います、要望いたします。

漢那副市長 街灯というのは切実な話です。街灯器作るのに60万以上かかるので、大変困難ではございますが。まあそうは言つても防犯の問題ですしね。

東さん 今、ソーラー式、太陽熱や風力を使った街灯があると聞いています。

漢那副市長 補助対象外ですが。
上原さん 真喜良に行こうとすると、街路樹、葉が多く落ちていて暗いイメージがあります。

東さん 木の根っこが歩道を持ち上げて、暗がりはあるの通りは危ないですね。歩道が歩きにくいものだから車道を歩いているのを結構見受けられます。

上原さん お店は警察と警備員との防犯態勢を整えています。が、この地域の公民館の人達との関わりがなかなか作れなくて、連携できればなあと思います。

漢那副市長 石垣は那覇とかに比べると地域力、コミュニティがしっかりしているところですよ。それでも、もつと育てなきゃいけないということですね。

新空港ターミナルにも 「ココストア」

東さん 新空港ターミナルにコンビニを入れるというのはどうですか。入店に関してはどのような状況ですか。

石垣(雅)新空港・政策主幹 新空港のテナントは株式会社で運営しますが、石垣市も第三の株主です。で、テナント関係に地元が発展ということで作って進めている状況です。コンビニの各店舗が個別に入るのとはたぶん厳しいと思います。今日のテーマのとおり地産地消ということでは地元の何かを使って組合で作る、ターミナル会社に申請すると、その段階の審査で適当と認められれば、可能性としてあると思います。専門、物販、飲食の専門分野に分かれたブースにします。で、似たような申請があれば、企画の段階で抽選になるのか？数は限定している、で、いかにいい企画書で申請するかですね。

中山市長 テナントの選定は全てターミナル会社でやることになっていきます。行政として、こういう店舗を入れてくれという要望は、やりにくいところはあります。

漢那副市長 最初から議論になつていたことは、那覇や羽田空港もそうですが、一般の専門店のテナントとコンビニは独立し

てあるんです。ああいうかたちになるのかどうか？ いずれにしても、公募でやります。それで、債権債務が生じるわけですから組織的に法律上、認知された組合であること。地元という意味では大変強みだと思っています。

塩谷さん ココストアで組合ということで結びついたのは、コンビニの部分でも、いろんな食材など、地産地消で売れるのではないかと、スイーツ、お菓子類もオリジナルで作って空港などで出店する際にできるのではないかと、ということでも協力していかうと話がありました。

中山市長 いろいろご意見いただきました。企画書は特にしっかりと作成していただきたいです。地域経済を活性化しようと思つたら外から入ってくる商品、売れるよりも地元でどんだだけ売れるかということになります。生鮮食品など地元の商品の品揃えを増やしていただく、ということになります。防犯の部分、もう少し何か考えられないかと思ひます。AED設置、子どものかけ込み場所としてコンビニが地域の中にあることで安心感、またいなものがあればいいのかなあと思います。コンビニの便利さと夜間開いていることで子ども達が来店するでしょうから、深夜徘徊などにならないよう、しっかりと指導できればと思います。行政側も一生懸命考えます。今日はありがとうございました。